

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら堺教室			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～	2024年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		～	2024年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くの専門職やベテランの保育士が在籍しているため、それぞれの助言を活かしたうえでプログラムを作成していることだと思います。	児童が飽きないように、毎日違う集団活動プログラムを考え、行っていることです。	発達に合わせてプログラムを考えておりますが、勉強会などで知識を高め、どの職員が担当しても児童の発達にあうプログラムができるようにしていきます。
2	児童に寄り添い、全職員が真剣に児童さんのことを考えていることです。	集団の中にも、個々に合わせて、好きなものやキャラクターを使用したり、支援方法考えて支援しています。	さらに個々に合わせて支援していけるよう、職員で情報共有し頑張っ参ります。
3	清潔感のあることだと思っています。	毎日のそうじきや机ふきはもちろん、おもちゃを毎日消毒して感染予防をしています。	今後も教室や周辺の美化に努め、児童が過ごしやすい環境にしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動がメインのお教室のため、個別でのプログラムはみんながいるお部屋での支援になっています。	見守りの人数が減ってしまうことが危険につながるため、完全個室は踏み切れずにいます。	誰からもみえない個室ではなく、児童がいつでもでいけるような、背の低い簡易パーテーションを使用し、個別にゆっくりプログラムできるようにしていく必要があるかなと思います。
2	児童自ら入れる休憩場所のわかりやすさに欠けていることです。	今はマットの上などで休憩しているため、休憩などの表記はありませんでした。また、職員がうながしてクールダウンすることがほとんどでした。	自立をうながす目的も含め、どこで休憩してよいか、わかりやすく周知する必要があると思っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
こぼんはうすさくら堺教室		2024年 10月 31日						
		利用児童数				回収数 35		
		2024年 10月 31日						
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35				個別は個室のような空間のほうが集中できそうだが、体が動かせるような部屋があったり、全体的に広々としてよい。	ご意見ありがとうございます。個別に関しては、集中しにくい場合は日々の落ち着いた空間の中にパーテーションなども利用していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35					毎日、おもちゃの消毒や机といすの消毒をおこなっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1			家族における支援プログラムがあるかわかりませんが、あればしてほしいです。	ご意見ありがとうございます。事業所内での相談を承ったり、保護者会などがございます。ご希望やわからないことがあれば、いつでもお申し付けください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	16	6			保育園さんと、近所の商店街にハロウィンの練り歩きをしたり、防災訓練や防犯訓練を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	2			加算の一覧などはいただけるが、どの項目が該当するのかが記載や説明が少なくわかりづらかった。	ご意見ありがとうございます。項目について、さらにわかりやすくご説明できるようにしていきます。また契約時以外にも定期的にお伝えさせていただきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	7	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	4				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1			担当の先生がまちまちなので、口頭で伝えたことは伝わっていないことがある。	ご意見ありがとうございます。終礼での共有や業務引継ぎノートを活用しておりますが、伝えきれない様に徹底していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	8	5		まだ利用させてもらって間もないのでわかりかねます。もう少し保護者交流会の機会があればありがたいです。	ご兄弟も参加可能な親子サッカーや、箱庭を体験した後にお菓子を食べながらお話できる保護者会を開催しています。年末には、お餅つきを予定していますので、よろしければぜひご参加ください。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	1	1		申し込めばすぐ相談日程を決めてもらえる。	ご意見ありがとうございます。LINEや口頭で日程申し込みの他、相談申し込み用紙を設置やお渡しをしております。今後もしつてもご相談ください。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	3	2		ホームページやSNS、アプリを通して配信しています。またさらに充実するようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	6			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	14	1	まだ利用させてもらって間もないのでわかりかねます。	消防署の方を招いての防災訓練が年2回、警察署の方を招いての防犯訓練を年1回行っています。水やお菓子、簡易トイレなども備蓄しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	4		現在けがなどしたことがないのでわからない。利用したてでわからない。	ご意見ありがとうございます。協力医療機関があります。また、事業所から病院に行くお怪我は今のところございませんが、万が一の場合は、迅速に対応できるように普段から意識していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34		1	利用したてで不安があります。	ご意見ありがとうございます。早く慣れたいだけのように、安心感を大切に、支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こぼんはうすさくら堺教室		2024年10月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		遊ぶ内容によってスペースをわけているのがよいと思います。動きたい子と静かに遊びたい子がいるときは工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別はマンツーマンであり、適切です。	人数は足りており適切であるが、児童によってはたくさん の支援の人出がほしいときがあります。また支援の認識をさらに全員で統一していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	一番静かで落ち着くのが別室やろうかなどあります。	今は職員がパーティションをだしてきているので、児童自らが利用できる囲いのある空間（クールダウンの場）があればよいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	週に1回話し合いの会議があります。また夕礼で共有しています。	大きな振り返りが新規専門計画時が多いので、週に1回の話し合いでさらに振り返るようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		支援上話し合いたい内容を支援会議を設け十分に検討する機会があります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		本部の研修などがあります。また、支援に合わせた研修ツールを導入しています。	まだまだ足りないと思うので、さらに積極的に行っていきたいという思いです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		非常に充実している。同曜日で領域がかぶらないように集団を組んだり、個別課題を個人の目標にあわせて準備しています。	ブログ等で発信しているが、もっと詳しく公表できるように、準備中です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		お聞き取りや持参された検査結果等により、適切なアセスメントが行われています。行動観察も十分に行われており、応用行動分析に基づいたABC分析をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	全ての支援員が立案に関わっています。	個別プログラム等、個々にプログラムを作ることが多いが、わからないことや取り組み方は相談しながらすすめています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		5領域をランダムに振り分けられています。常に新しいプログラムが立案され児童が飽きないように楽しんで参加できるように工夫されています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		専門的支援計画を全児童に作成し、集団では足りない点が個別に重点的に支援されています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で、必要な情報の周知を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼で、必要な情報の周知を行っています。	パートさんは記録に残してもらおうことが多いので、別会議にも出席してもらえるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		専門職の記録や引継ぎノート、連絡帳など、その日の児童の様子が手に取るようにわかり、支援の検証や改善に非常に役立つ記録がされています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		必要と感ずることもあるので、保護者の方と相談の上、適切な見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管や日頃担当している支援者によって情報共有しています。事前に、その他の支援者からの情報も持参しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	関係者会議をして情報を共有しています。医療機関の意見書を参考にした上で、支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			保護者の方を通してや、会議で情報共有しています。まだまだ足りないと思うので、さらに積極的に行っていきたいという思いです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		標準化されたツールを用いて評価を行い、就学後どのような場面で支援がどの程度必要か情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		その日の支援状況について、連絡帳や担当者から丁寧にフィードバックが行われている。課題について、情報を事業所内で周知しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	個人個人のご相談にのっています。	
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		ご家族のご意向を踏まえています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		事前に相談したい内容を記述していただき、面談時はそれに関する情報提供および詳しくお聞き取りし、できる限りの対応を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		親子サッカーや保護者会で箱庭などを通して交流を行っています。	たくさん参加いただける時間やお時間等を確認していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		事前に相談申し込み用紙をお渡しし、常に受付可能な状態になっています。実際利用されることも多い状況です。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童が世界をどのようにとらえているかを理解し、外部からどのように働きかけ、提示すればわかりやすいかの視点を大切に支援しています。保護者には寄り添った関りを大切にしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	保育園とのハロウィンイベントの際に、地域のご高齢の方にお菓子をお渡しし、配っていただいています。	事業所にお呼びすることは、今のところできておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		毎日確認する実績記録表のファイルなどにも記載しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		終礼での発表、引継ぎノートへの記載、ヒヤリハットへの記入をしています。内容によっては、会議で検討しています。	今後もしっかり行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3	今まで身体拘束にあたる事案はありません。	